

# 2023 年度ノースウェスタン大学との協力協定に基づく 成果発信プログラム 募集要項

## 1. 本プログラムの趣旨・背景

立命館アジア・日本研究機構とノースウェスタン大学 Roberta Buffett Institute for Global Affairs は、Meridian180(多言語での政策提言・研究成果発信を目的としたオンラインプラットフォーム)を核とした研究連携について、2019年3月に協定を締結した。

両大学の協定を基盤とし、Meridian180を核とした研究交流を加速させることを目的に、ノースウェスタン大学との協業による成果発信を希望するプロジェクトを支援し、協定に基づくグローバルな研究交流の具現化を目指すため本プログラムを実施する。最終的には、英書や電子書籍の発刊等を含む国際的な研究成果発信へ繋げる。

## 2. Meridian180 について

Meridian180とは、米国・ノースウェスタン大学に本部を置く多言語での政策提言・研究成果発信を目的とした国際的な研究ネットワークである。オンラインフォーラムでの議論(多言語対応)をはじめ、研究グループでの共同研究、国際カンファレンスの主催、電子書籍の出版等の成果発信を行ってきており、2019年1月からノースウェスタン大学に本部が移管された。

海外では韓国・梨花女子大学、New South Wales 大学等、国内では東京大学、慶應義塾大学がこれまでパートナー大学として活動し、現在は立命館大学が唯一のパートナー大学となっている。Meridian180には現在800名を超える研究者や企業関係者等がメンバーとして所属している。本大学は2018年6月から本格的にパートナー大学としての活動を開始し、2019年4月からは「日本支部」としての役割をも担うようになり、その事務局機能はアジア・日本研究所が担っている。

Meridian180では、Core Idea Group (CIG) と呼ばれるパートナー大学等の代表者が中心となって運営を行っており、推進する研究テーマの設定や進捗管理、グローバルな研究ネットワーク展開についての協議を行っている。立命館大学からはノースウェスタン大学との協議に基づき、教員2名がCIGのメンバーとして参画している。

## 3. 2023 年度の募集内容について

過年度においては、本大学が中心となり「Smart & Shrinking Cities (スマート&シュリンキング・シティ)」「Gerontology and Social Technology (ジェロントロジーと社会技術)」「Social Development and Science Technology for Food /Agriculture (食・農の社会開発と科学技術)」「Gender Fair Responses to the COVID-19 Pandemic and Urgent Challenges (ジェンダー公正な COVID-19 パンデミックへの対応・回復の課題)」といった研究テーマの下で国際シンポジウム開催、オンラインフォーラムの主宰など、多彩な様々な活動を展開してきた。

今年度はこれまでの4年間の活動と成果を踏まえて、次の2つに区分して申請を募集する。

【A】成果発信のための新しい研究テーマ創案

【B】既存の成果発信＝出版のための助成

採択された申請については、研究部および立命館アジア・日本研究機構がアジア・日本研究所を基盤とした研究活動を支援することとする。なお、本プログラムにおける採択メンバーが研究プロジェクト活動を実施するにあたり、本大学の Meridian180・CIG メンバーと連携し、成果発信を行う。

研究テーマ	<p><b>【A区分】</b>  新規のテーマを公募する。テーマについては、Meridian180 で実施するのにふさわしい重大性・国際性・学際性を備えたものであることが望ましい。Meridian180 で取り組まれた過去のオンラインフォーラムの概要については下記の Web ページにあるので、申請に際しては参考とすること。  <a href="https://meridianforums.northwestern.edu/ja">https://meridianforums.northwestern.edu/ja</a> (日本語)</p> <p>なお、Meridian180 そのものの紹介については次の Web ページを参照されたい。  <a href="https://meridian.northwestern.edu/">https://meridian.northwestern.edu/</a></p> <p><b>【B区分】</b>  過年度に取り組んだ以下の 5 つの研究テーマについて、研究成果の出版に必要な経費を助成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① Social Development and Science Technology for Food /Agriculture (食・農の社会開発と科学技術)</li> <li>② Gender Fair Responses to the COVID-19 Pandemic and Urgent Challenges (ジェンダー公正な COVID-19 パンデミックへの対応・回復の課題)</li> <li>③ Public Procurement as Social Responsibility and Promotion of Employing Persons with Disabilities (公共調達を活用した障害者雇用の促進のあり方)</li> <li>④ Research DX and Multilingualism in the Post-COVID Era (ポストコロナ時代の研究 DX とマルチリンガリズム)</li> <li>⑤ Locally-led Disaster Management and Humanitarian Assistance in Asia: Local Knowledge as Disaster Response Capacity (アジアにおける現地主導の災害管理と人道支援: 災害対応能力としてのローカルナレッジ)</li> </ol> <p>このプログラムを通じて得られた研究成果は e-Book として刊行する。サンプルは次の Web ページを参照のこと。  <a href="https://city-public-value-and-capitalism.northwestern.pub/">https://city-public-value-and-capitalism.northwestern.pub/</a></p>
申請者	<p><b>【A区分】</b>  個人およびグループ(2~5 名)のいずれによる申請でも構わない。類似のテーマが複数申請された場合には、申請者の了解を経て 1 つのテーマに統合することがある。</p> <p><b>【B区分】</b>  リーダーがグループ毎に申請する。</p>
申請資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者は、本大学の本務教員(※1 一部除く)、研究職員(専門研究員、研究員、初任研究員)であること。</li> <li>・過年度に採択された研究課題(本プログラム以外も含む)について、報告書を提出していること。</li> </ul> <p>※1)  申請資格のある本務教員は、立命館大学の教授、准教授、任期制教員(教授・准教授・講師・助教)、特任助教、初任助教、特別契約教員(教授・准教授)、特別招聘教</p>

	員(教授・准教授)、特別招聘研究教員(教授・准教授)、研究教員(教授・准教授・助教)とする。特任教員、特命教員、継続雇用教員、嘱託講師は除く。
プログラム 予算	<p>全体予算の上限を 500 万円とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算計画については、今回採択の上、構成されたプロジェクトメンバーと本大学の CIG メンバーとが協議の上、研究費執行計画を策定する。</li> <li>・Meridian180 の活動を核とした共同研究プロジェクト経費ならびに研究成果発信を目的とした研究活動、研究成果の取りまとめに必要な経費を対象とする。</li> </ul> <p>(研究費執行計画において対象となる経費の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Meridian180 のグローバル・サミット(年 1 回)への参加経費費など、研究プロジェクトに係る旅費(国外・国内)</li> <li>- 研究活動遂行に必要となる図書資料費、機器備品費、アルバイト等謝金、印刷・製本費、招聘研究者の旅費・滞在費、翻訳費、校閲費、RA 人件費等</li> </ul>
研究スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究期間:2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日</li> <li>・スケジュール(予定): 採用通知:2023 年 3 月下旬</li> </ul> <p><b>【A区分】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用後:プロジェクトメンバーおよび本大学の CIG メンバー顔合せ</li> <li>・4 月～12 月:研究会、オンラインフォーラムに向けた打合せ 等</li> <li>・2024 年 1 月頃:国際シンポジウムの実施 2 月頃:Meridian180 でのオンラインフォーラム実施</li> </ul> <p><b>【B区分】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用後:出版計画の立案、出版社との交渉、執筆者との打合せ、研究会等の開催、必要に応じてノースウェスタン大学との調整など</li> </ul>

#### 4. 審査にあたって

##### (1) 審査委員会

「ノースウェスタン大学との協力協定に基づく成果発信プログラム」に関わる審査委員会において、次の各号の基準に基づき、選考の上決定する。

##### 【A区分】

##### 1) 研究課題に対する問題意識、課題設定、それに沿った活動の成果について

- ・ Meridian180 で取り上げるのにふさわしい重大性・国際性・学際性を持った研究テーマであり、それに対する問題意識および研究課題が明確に設定されているか。
- ・ 当該研究テーマについて、これまで有益な研究がおこなわれてきているか。

##### 2) 課題解決に向けた貢献について

- ・ 1) の問題意識、課題設定に基づき、解決すべき課題について具体的かつ明確な知見や今後へ向けた方向性が示されているか。

##### 3) 提言や貢献について

- ・ 1) 2) で設定した課題の解決に向けて、どのような提言や貢献をなしうるかについて

て、明確な見通しが示されているか。

4) グローバルな成果発信について

・ 1) 2) 3) を踏まえて、英文出版、e-book を通じた国際的な成果発信をどのように行うのかについて、企画が具体的かつ明確に示されているか。

5) 関連する研究実績とその研究成果について

・ これまでの研究成果、研究業績等からみて、英文等による成果発信について高い遂行能力を有していると判断できるか。

【B区分】

1) 出版へ向けた取組について

・ 過年度の5つのテーマ(前述)について、これまでに十分な研究成果が積み重ねられているか。

・ 出版へ向けた活動進捗が確認でき、かつ、英文出版や e-book 等による国際的な成果発信のための明確な見通しが示されているか。

2) グローバルな提言や研究の発展について

・ 国際的な成果発信を通じて、今後の研究のさらなる展開が期待されるか。

(2) 採択結果

申請者へ通知し、9月の研究委員会に報告する。

**5. 留意事項**

(1) 本プログラムにはプログラム・アドバイザー(研究部長が兼務)を置き、成果発信をサポートする。

(2) 本プログラム内で、類似テーマ、同一研究者による複数の申請がある場合は、審査委員会において不採択とすることがある。

(3) 申請調書は全体で5ページ以内とする。

(4) 申請調書はモノクロ印刷による複写の上で審査に付される。

(5) 申請調書受付後、申請資格要件を満たしていないことが確認された場合は、審査に付さず、申請調書を返却することがある。

**6. 審査結果の通知**

審査結果の通知については、2023年3月下旬に応募者に文書で通知する。あわせて、採択者は、大学等ホームページへ掲載する。

**7. 申請調書および個人情報の取扱い**

(1) 申請調書等の提出物は審査のみに利用する。なお、提出物の返却はしない。

(2) 申請調書等より取得した個人情報は、審査以外の目的には利用しない。

**8. 申請手続**

所定の様式(申請調書)に基づき、申請する。A区分への申請にあたっては、研究者DBから、過去5年間(2018年4月1日~2022年度申請時点まで)の研究業績一覧(「著書」、

「論文」、「研究発表等」) を出力し、申請調書とあわせてメールにて提出すること。  
※研究業績一覧(「著書」、「論文」、「研究発表等」)は、研究者 DB の「データ出力・確認」の「研究業績書帳票出力」を選択して、出力すること。

**申請期間 : 2023 年 2 月 1 日 (水) ~ 2023 年 2 月 28 日 (火) 正午**

※申請書類はメールでの申請とし、事務局からの受信確認メールを以って提出完了とする(事務局からの受信確認メールが届かない場合は、お問合せください)。

<申請書提出先・問合せ先>

立命館大学朱雀キャンパス 5 階 研究部 RARA オフィス 川村夏子、中村もえ子

外線 : 075-813-8199、内線 : 510-2415

E-mail : [aji-res@st.ritsumei.ac.jp](mailto:aji-res@st.ritsumei.ac.jp)

#### 研究者 DB 入力をお願い

研究者 DB は、研究業績やプロフィールを Web から公開するためのデータベースです。審査過程で参画する研究者に関して研究者 DB を参照することがあります。できるだけ多くの情報を入力していただきますよう、よろしくお願いいたします。詳細は、研究部ホームページ ([http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/researcher\\_login/index.html/](http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/researcher_login/index.html/)) からご覧ください。

以上